

第14回『文化人・芸能人の多才な美術展』プロジェクトについて

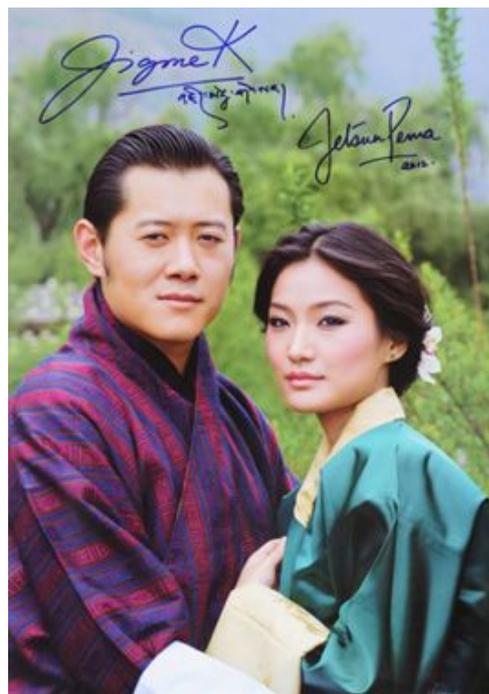
特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会（理事長・松岡久美子）と「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会（企画：ラリス株式会社）は、5月20日（日）から27日（日）までの計8日間、全国の巡回に先立ち、東京・渋谷に新たなランドマークとしてオープンした Shibuya HIKARIE のヒカリエホール（東京都渋谷区渋谷）を第1会場として、国賓、芸能人、スポーツ選手、弁護士、写真家、画家、国会議員、漫画家などの美術作品を紹介する第14回『文化人・芸能人の多才な美術展』を開催します。

「文化人・芸能人の多才な美術展」は、文化の世界で先導的役割を担っている文化人や芸能人の方々に、「広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！」をテーマに、様々なアート作品を制作してもらい、これらを一堂に会し、世代を越え、ひとりでも多くの人々にアートの素晴らしさを伝えようとするものです。

平成11年から福祉活動支援チャリティーとして開催してきた本展は、平成18年から文化財保護活動支援のためのチャリティーとして展開。昨年は東日本地域が未曾有の災害に見舞われたこともあり、「東日本大震災救済応援特別チャリティー企画」として開催しています。14年目を迎える今年は、未だこの震災に伴う多くの苦しみと闘う人々と地域の復興支援を願うと共に、震災で傷つき、壊れた貴重な文化財の修復を行う、文化庁の「文化財レスキュープロジェクト」を支援するため、「東日本大震災復興支援文化財レスキュー救済活動チャリティー企画」として本展を開催することにしました。

特に今年は、特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会（Japan Association of International Cultural Heritage）の理事長である松岡久美子がブータン王国国王のジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク陛下を理事長とする NPO Kidu FOUNDATION と、文化遺産の保存・継承などを目的に提携し、本展においても特別協力を受けます。

そして、本美術展の第1会場は、今年は昭和の渋谷文化を牽引した東急文化会館跡地にオープンした文化の殿堂 Shibuya HIKARIE の柿落とし記念催事として、「昭和の懐かしい思い出」と「平成の創造と未来」をテーマとし、Shibuya HIKARIE から「文化人・芸能人の多才な美術展」の歴史に残る新年度がスタート。多くの作家が渋谷文化創造に相応しい、優しさ、温かさ、心の豊かさを表した作品を制作しており、この美術展の14年間の実績と、新しい創造の表現を観ることが出来ます。



今回の初出品作家は、日本をこよなく愛し、先の震災の被災地にも赴かれ、深き祈りを捧げてくださったブータン王国国王陛下をはじめ、現職警視總監の樋口建史氏、昭和の大スター 故・石原裕次郎氏、現在の音楽業界をリードする TAKAHIRO 氏 (EXILE)、平成の注目子役である鈴木福くん、注目裁判の弁護を行う弁護士の弘中惇一郎氏、日本画家の松井冬子氏、美術家 横尾忠則氏の御令嬢でアーティストの横尾美美氏他、23名が新たに加わり、総勢にして過去最大の100名もの作家が参加するとともに、169点の作品を一堂に展示します。

注目すべきは、提携を結んだ特別記念として、ブータン王国国王陛下が本展のために特別に出品した共作「愛と希望」。ブータン王国国王陛下の作品が国内外で展示されるのは世界初のことです。

また、昭和を象徴する故・石原裕次郎氏が女優 北原三枝として活躍した愛妻に宛てた「最愛のマコへ」を含む原画5点を一般向けに初公開するほか、TAKAHIRO (EXILE) 氏が得意の書や水彩で描いた作品「Your Smile」と「飛躍」を披露、そしてサーフボード(高さ約190センチメートル、幅約50センチメートル)に文字やイラストで所属ダンス&ヴォーカルユニット EXILE を力強く表現した大作「オリジナルサーフボード“EXILE”」や、レザーの表面にカービング技術で絵を描き、デニムジャケットの背中にスタッズであしらった「レザーカービング“フラガール”」は必見です。更には、7才になる子役の鈴木福くんが、憧れのお城を子供らしい豊かな色彩で表現したパステル画「ふしぎなおしろと空のたび」が出品されるなど、心温まる作品も紹介していきます。

なお、『文化人・芸能人の多才な美術展』は、Shibuya HIKARIE ヒカリエホールでの開催を皮切りに、愛知の豊橋市美術博物館、岡山の岡山市デジタルミュージアムなど、美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店などを会場として全国を巡回していく計画です。第1会場の Shibuya HIKARIE ヒカリエホールで初日の5月20日(日)にブータン王国のケザン・チョデン・ワンチュク王女殿下を迎えテープカットを行うほか、開催期間中に多数の出品者が来場する予定です。



第13回『新・芸能人の多才な美術展』開催概要

14年目を迎えた『文化人・芸能人の多才な美術展』は、Shibuya HIKARIE ヒカリエホール（東京都渋谷区渋谷）で開催後、愛知、岡山などで実施。美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店を会場として、全国を1年間で巡回していきます。

また、今年の『文化人・芸能人の多才な美術展』は、「東日本大震災復興支援文化財レスキュー救済活動チャリティー企画」となるため、Shibuya HIKARIE Hikarie Hall での開催以降、チャリティーグッズの販売やチャリティー募金箱を各会場に設置することで、その収益や投入寄金全額を、文化庁が進める「文化庁レスキュー事業」、公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団に寄付します。この度の震災の復興を願うとともに、『文化人・芸能人の多才な美術展』の考え方や活動について、広く一般の方々に文化の輪を通して広げていけることを願っています。

| | |
|--------|---|
| タイトル | 特定非営利活動法人「日本国際文化遺産協会」 (Japan Association of International Cultural Heritage) 「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会 |
| 主催 | 特定非営利活動法人「日本国際文化遺産協会」 「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会 |
| 後援 | 外務省 文化庁 公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団 全国文化財保存技術連合会 各地域の放送局（NHK、民放）、新聞社など |
| 特別協力 | Kidu FOUNDATION（ブータン王国 NPO） |
| 協力 | 各地の美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店美術館 等 |
| 会場 | 各地の美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店美術館 等 |
| 事務局 | 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-26 元赤坂 MI ビル 5F |
| 企画制作 | ラリス株式会社 代表取締役社長 アートプロデューサー松岡久美子 TEL.03-5771-6555 FAX.03-5771-8833 URL : www.laris.co.jp |
| ＜第1会場＞ | |
| 会場 | Shibuya HIKARIE ヒカリエホール ホール B・9F（東京都渋谷区渋谷 2-21-1） ※東京メトロ副都心線・半蔵門線、東急田園都市線の B3 出口直結。 JR 線、東急東横線、東京メトロ銀座線、京王井の頭線と 2F ペDESTリアンデッキ直結。 |
| 日程 | 5月20日（日）～5月27日（日）／10:00～20:00（入館は19時30分まで） ※最終日は17時閉場 |
| 入場 | 一般 800 円（小学生以下無料）／前売り 700 円 ※前売りは、5月10日より、e+（イープラス）チケットで開始します。 ・PC用購入ページ ※販売終了 ・携帯用購入ページ ※販売終了 |

| | |
|--|---|
| ゲスト | 5月20日／ブータン王国ケザン・チョデン・ワンチュク王女殿下来日 10:00 テープカット ※事前にお申し込みが必要ですが、撮影の対応は可能です。 整理券は先着にて当日配布します。(ケザン王女の囲み取材は行いません) |
| <第2会場> | |
| 会場 | 豊橋市美術博物館 (愛知県豊橋市今橋町 3-1/豊橋公園内) ※JR・名鉄「豊橋」駅前より市電乗車、「豊橋公園前」下車、徒歩3分 |
| 日程 | 6月12日(火)～6月24日(日) / 9:00～17:00 ※初日は午前10時開場、最終日は午後3時閉場 ※月曜日休館 |
| 観覧料 | 一般・大学生 500 (400) 円 小・中・高生 200 (100) 円 ※()は前売及び20名以上の団体料金 ※前売券は豊橋市美術博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市役所じょうほうひろばで6/11(月)まで販売 |
| <第3会場> | |
| 会場 | 霞が関ビルディング プラザホール (東京都千代田区霞が関 3-2-5 1F) ※地下鉄銀座線「虎ノ門」駅 11番出口から徒歩2分 地下鉄千代田線「霞が関」駅 A13番出口から徒歩6分 地下鉄丸ノ内線「霞が関」駅 A13番出口から徒歩9分 地下鉄日比谷線「霞が関」駅 A13番出口から徒歩7分 地下鉄有楽町線「桜田門」駅 2番出口から徒歩9分 地下鉄南北線「溜池山王」駅 8番出口から徒歩9分 |
| 日程 | 9月17日(月)(祝)～9月29日(土) / 10:00～20:00 (入場は19時30分まで) ※最終日は15時閉場 休館日なし |
| 入場料 | 一般 500 円 (税込・小学生以下無料) ※当日券のみ |
| <第4会場> | |
| 会場 | 岡山シティミュージアム (現:岡山市デジタルミュージアム) (岡山県岡山市北区駅元町 15-1) ※JR 岡山駅西口向かい、リットシティビル南棟 4・5階 |
| 日程 | 11月11日(日)～12月4日(火) / 10:00～17:00 (入場は16時30分まで) |
| 入場料 | 一般 1000 円 65歳以上の方 900 円 中学生・高校生・大学生・専門学校生 600 円 / 前売り (一般のみ) 800 円 ※小学生以下は無料 ※20名以上の団体は、当日料金から100円引き |
| <p>※上記以外の開催地につきましては、詳細が決まり次第、ご案内致します。</p> <p>併せて2012年度開催会場の募集も行っております。</p> <p>可能な限り、日程調整等をさせていただきたいと存じますので、</p> <p>詳しくは、事務局(ラリス株式会社/電話 03-5771-6555)までお問い合わせ下さい。</p> | |

・ブータン王国ケザン・チョデン・ワンチュク王女殿下プロフィール



生年月日：1982年1月23日

教育：ブータン王国で教育を受けた後、米国カリフォルニア州スタンフォード大学にて心理学専攻。

ブータン王国第5代国王陛下よりブータン中央部における福祉政策の代表として指名される。2008年の第5代国王陛下戴冠式の際、ブムタンの戴冠記念寺院建設を監督した。

ブータン王国内外でGNH（国民総幸福量）の普及に尽力しており、ブータンにおけるGNHセンター創立者の1人である。

主催

・特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会（略称：JAICH）

14年目を迎えた『文化人・芸能人の多才な美術展』は、昨年から「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会（※委員の詳細はP8に記載）と特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会の共同主催により、開催することになりました。

特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会（JAICH）は、2011年3月、特定非営利活動法人としての設立が内閣府に承認された団体です。

日本には豊かな自然の中で、長い年月をかけてはぐくまれた文化遺産が数多くあります。これらは私たちの心の糧になり、歴史や文化を理解するためには欠かせないもので、新しい文化の創造にも大きな役割を果たしています。特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会は、これらの自然と遺産を護り、育み、次世代に伝えていくために組織されました。

後援

・公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

文化財保護・芸術研究助成財団は、文化財の保存及び活用に関する事業の助成、芸術文化の発展に係る研究活動に対する助成及び世界の文化財の保護に関する国際的な協力・交流等を促進することにより、文化財の保護と芸術文化の充実向上を図り、日本の文化の発展並びに国際相互理解の促進に寄与することを目的とする法人として2010年3月に内閣府より新たに公益財団法人として認定を受けました。

同財団は、これまでもシルクロード周辺を主とした地域の文化遺産に対する人的・技術的支援や資金援助を行ってきました。故・平山郁夫前理事長が提唱していた「文化財赤十字構想」の精神にのっとり、今後も文化を通しての社会貢献、国際貢献に尽くしていきます。

・全国文化財保存技術連合会

日本における文化財建造物の保存修理は、明治30年の古社寺保存法施行以来、文化財保護事業における重要な施策のひとつとして、今日まで永年にわたり実施されてきました。これらの国民的文化遺産を守り伝えることに、確かな修理によって貢献することが、同連合会の大切な役割となっています。

| | |
|---|--|
| <p>特別協力</p> | <p>・ Kidu FOUNDATION (ブータン王国 NPO)</p> <p>ブータン王国のジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク国王陛下が理事長を務める非営利活動法人 (NPO)。「Kidu」は、ブータン王国の公用語であるゾンカ語で、人々の幸福・健康を意味する言葉です。民主的な社会や持続可能な経済の構築、民主的な法秩序の確立、国全体の持続可能な発展などを活動の目的としています。自然環境や文化遺産の保護も、そうした目的を達成するための重要な要素です。</p> |
| <p>文化人・芸能人の多才な美術展の実績</p> | <p>「芸能人の多才な美術展 (旧タイトル)」は、平成 11 年 (1999 年) から開始し、昨年までの 13 年間で、延べ 200 万人以上の観客を動員している美術展です。第 1 回目は、福祉を目的としたチャリティー企画として開催。参加作家 17 名からスタートしました。その後、文化財保護支援のチャリティー企画として、「広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！」をテーマに、美術展としては異例の憲政記念館を会場にするなど、芸能人や政治家などの才能ある作家の協力をいただきながら、平成 18 年 (2006 年) から『文化人・芸能人の多才な美術展』と美術展のタイトルも改め展開しています。</p> <p>多くのジャンルの方々の参加により、今年は参加作家が 100 名にのぼり、国内最大規模のエンターテインメントアート展として、14 年目を迎えることになりました。</p> |
| <p>「文化人・芸能人の多才な美術展」 2012 年度 (第 14 回) 出展作家 【合計 100 作家】</p> | <p>1.文化人・芸能人・特別出展(芸能人 57 名、文化人・特別出展 25 名)</p> <p><スペシャルサプライズ></p> <p>ブータン王国国王 ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク陛下 ブータン王国王妃 ジツェン・ペマ・ワンチュク陛下</p> <p><特別協力出展></p> <p>瀬戸内寂聴 (寂庵) 高田良信 (法隆寺) 大野玄妙 (法隆寺) 豊原大成 (西本願寺) 不二川公勝 (西本願寺) 福山諦法 (永平寺) 山田法胤 (薬師寺)</p> <p><特別記念出展></p> <p>美空ひばり 石原裕次郎</p> <p><震災復興応援特別出展></p> <p>樋口建史 (第 89 代現職警視総監)</p> |

<特別賛同出展>

弘中惇一郎（弁護士）

<特別出展>

絹谷幸二（画家）

松井冬子（画家）

<特別報道写真出展>

高橋邦典（フォトグラファー）

宮嶋茂樹（報道カメラマン）

渡部陽一（戦場カメラマン）

<特別賛助出展>

さいとう・たかを（漫画家）

松本零士（漫画家）

矢口高雄（漫画家）

横尾美美（画家）

<特別企画ノスタルジックな世界>

太田隆司

渡辺哲也

海老原有紀

佐藤 豊

芦屋小雁、辻 正司、安達祐実、堤大二郎、新井晴み、中川翔子
和泉雅子、キャシー中島、市川團十郎、中村繁之、市田喜一（左時枝ご
主人）中邑真輔、内野雅弘、中山律子、OH・SE（電撃チョモランマ隊）
蜷川みほ、大和田伸也、根本りつ子、奥山佳恵、橋爪 淳、鬼塚勝也、
鳩山幸（鳩山由紀夫夫人）、風見章子、林 与一、片岡鶴太郎、林 啓二
叶 恭子、原田直之、亀ひろし、原田伸郎、川合伸旺、
原田美紀（原田伸郎夫人）、川崎麻世、左 時枝、岸 ユキ、藤あや子
北野 武、牧 伸二、国広富之、マイク眞木、
ザ・ニューズペーパー 渡部又兵衛、ザ・ニューズペーパー 松下アキラ
ザ・ニューズペーパー 福本ヒデ、松村邦洋、増田登（八代亜紀ご主人）
三浦リカ（堤大二郎夫人）、清水 圭、八代亜紀、水前寺清子、
山本富士子、ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ、山本陽子、パパイヤ鈴木、
吉田照美、鈴木 福、若原 瞳、TAKAHIRO (EXILE)

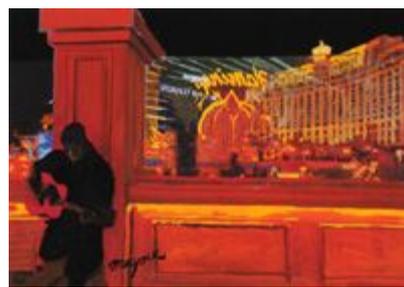
2. 衆議院芸術議員連盟、国会議員有志のメンバー <18名>

逢沢一郎（衆議院議員）、鈴木 寛（参議院議員）、

松原 仁（衆・国務大臣）、秋葉賢也（衆議院議員）、

谷垣禎一（自由民主党総裁）、元宿 仁（自由民主党本部事務総長）

麻生太郎（元内閣総理大臣）、中川雅治（参議院議員）、
山谷えり子（参議院議員）、江田五月（参議院議員）、
鳩山由紀夫（元内閣総理大臣）、山本明彦（元衆議院議員）、
川端達夫（衆・総務大臣・内閣府特命担当大臣）、平沢勝栄（衆議院議員）
小泉俊明（衆議院議員）、深谷隆司（元通商産業大臣）、
後藤田正純（衆議院議員）、福田康夫（元内閣総理大臣）



第14回『文化人・芸能人の多才な美術展』実行委員会

東日本大震災救済応援特別チャリティー企画

「文化人・芸能人の多才な美術展」平成23年度の実行委員会委員

～拡げよう文化の輪・芸術は世界を救う！～

| | |
|----------|--|
| 特別顧問 | 青柳 正規 国立西洋美術館長、元東京大学副学長 |
| 実行委員長 | 亀井 伸雄 元文化庁鑑査官、国立文化財機構東京文化財研究所長 |
| 委員（五十音順） | 青木 繁夫 サイバー大学世界遺産学部教授 井上 洋一 東京国立博物館学芸企画部企画課長 高田 良信 法隆寺元管長 武野 和行 元NHKエグゼクティブプロデューサー・文化財保存修復学会 会員 坪井 清足 財団法人 元興寺文化財研究所、考古学者 泊 懋 東映アニメーション株式会社相談役 沼田 智秀 財団法人仏教伝道協会会長 野口 昇 (社)日本ユネスコ協会連盟理事長 平井 昭司 東京都市大学教授 平尾 良光 別府大学文学部教授（文化財学課） さいとうたかを 劇作家 松本 零士 SF漫画作家、大学教授 矢口 高雄 漫画家・日本漫画家協会 会員 |
| 監 事 | 玉井 賢二 (財)文化財保護・芸術研究助成財団顧問 |
| 賛助（五十音順） | 逢沢 一郎 衆議院議員、中川 雅治 参議院議員、 秋葉 賢也 衆議院議員、鳩山由紀夫 元内閣総理大臣、 麻生 太郎 元内閣総理大臣、平沢 勝栄 衆議院議員、 江田 五月 参議院議員、深谷 隆司 元通商産業大臣、 川端 達夫 衆・総務大臣・内閣府特命担当大臣、 福田 康夫 元内閣総理大臣、小泉 俊明 衆議院議員、 松原 仁 衆・国務大臣、後藤田正純 衆議院議員、 元宿 仁 自由民主党本部事務総長、鈴木 寛 参議院議員、 山谷 えり子 参議院議員、谷垣 禎一 自由民主党総裁、 山本 明彦 元衆議院議員 |
| 事務局長 | 松岡久美子 ラリス株式会社 代表取締役社長 アートプロデューサー |

